

福祉うちはら

令和 6 年度「福寿のつどい」開催

令和 6 年 9 月 16 日(月)、内原市民センターホールに招待者 50 数名と水戸市長高橋靖様はじめ多くのご来賓、内原中学校有志ボランティアの生徒さん、スタッフ等々、総勢 100 名を超えて集い、内原地区の「福寿のつどい」を開催致しました。招待者を代表して内原 5 区の上田あき子さんが記念品授受を、江川区の船山恭二さんが謝辞を述べられ、式典は無事終了。その後は、アトラクションに出演してくださった茨城県警音楽隊の演奏を楽しみました。



令和六年度総会

令和六年五月二十五日(土) 内原市民センターホールにおいて、令和六年度水戸市社会福祉協議会内原支部福祉員の定例総会を開催しました。

ご来賓には、保立武憲水戸市社会福祉協議会会長と関文男内原市民センター所長をお招きし、ご臨席頂きました。

議事は坪井内原支部長を議長にご審議頂きましたが、本年度事業計画、予算案、若干名の役員改選等、原案どおりに承認され、滞りなく終了しました。

クリスマス食宴会

令和六年十一月十六日(土) 新型コロナウイルス感染予防のため自粛を余儀なくされていた「クリスマス食宴会」を三年ぶりに開催しました。

新型コロナウイルスのみならず、インフルエンザの感染拡大もあり、手作りのものを提供する状況ではありませんでしたが、スタッフが吟味した外注の食事と抽選会のプレゼントに、参加された方々の顔もほころびました。



アトラクションには、参加者の「孫」世代とも言えそうなシンガーソングライター、磯山純さんの歌を楽しみました。自身のおばあちゃんとの思い出から作ったという歌や懐かしい童謡など、優しい歌声と相まって、満足のひと時となりました。

時節柄、当日欠席の方も少なからずいましたが、参加された方々からは、お帰りの際に、

「一緒に食べると、やっぱりおいしい」

「ほんとに楽しかった」

「来てよかった」というお声が、いくつもあがりました。

前橋市敷島地区社会福祉協議会

視察研修・情報交換会



少子高齢化や交流の機会の減少が共有される中で、内原地区で取り組む「多世代交流うちつこ広場」について坪井支部長より、子どもや子育て世代と地域のシニア世代が交流する機会の創出や地域シニアのボランティア活躍の場として、参加する方も関わる方々にとっても、相互の交流の機会となつているとお話をいただきました。

水戸市社会福祉協議会

倉田 和也

一月二十八日（火）、群馬県前橋市敷島地区社会福祉協議会から、二十三名の皆様が来訪され、水戸市社会福祉協議会生活支援体制整備事業で地域の皆様と展開する「地域いきいきコミュニティーク」の実施概要について話し合いを持ちました。

コミュニティークで検討されたアクションプランからの取り組みについて、実施地区支部長の皆様から、取り組みの実情や実施後の様子、各地域の課題についてご説明いただき、情報共有及び意見交換を行いました。



【おしゃべりサロン・かたくり】

毎月、第2火曜日に開催される「おしゃべりサロン・かたくり」は高齢世代の方々が、気軽に集い、様々なお茶を飲みながらゲームやおしゃべりを楽しむ内原支部主催事業の一つです。

参加者はどなたでも大歓迎!! お一人様、ご夫婦、お友達同士等々、毎月参加者も増え、時にはスタッフの手が足りない状況もあります。男性の参加者も増え、好きな飲み物を注文し、市民活動団体のアトラクションを楽しんだり、参加者も得意芸を披露したりと、時間も忘れるほど楽しい時を過ごしています。

地区を超えて新しいお仲間も増え、毎月、皆さんに会えるのが楽しみとのこと。

サロンの参加費は100円ぽっきり。地域の有志の方からの寄贈品などもあり、緑茶、コーヒー（ドリップで入れています）、紅茶、抹茶などを用意し、ささやかなお茶菓子もごぞいます。

事前申し込みは不要です。いつでも、お気軽にご参加ください。



小林区民各位

令和6年11月吉日



～社協内原支部「地区ふれあい事業」助成活動より～

令和6年12月1日(日)に、小林コミュニティセンターを会場に開催された「小林コミセンまつり」は、小林区が、小林営農組合・女性の会・小林子ども会・小林自衛消防団の協力を得て、小学生のそば打ち体験、参加者へのけんちゃんそば・キャラメルポップコーンの無料提供、シクラメンの鉢植えや生活雑貨など、多くの景品が用意されたビンゴゲーム大会などで、大いに盛り上がり250名を超える老若男女の参加があり、大盛況のうちに終了しました。

小林2区自治会長 金澤 敏雄



みんなの福祉のまちづくり憲章

【序 文】

わたしたちは
住み慣れた地域の福祉を増進し
ふれあいと優しさあふれる
福祉のまち「水戸」を目指します

1. みんなで 安全安心な暮らしにしよう
1. みんなで 子供たちを健やかに育てよう
1. みんなで 互いを理解し尊重しよう
1. みんなで 絆を大切にし 支え合おう
1. みんなで 福祉のまち「水戸」にしよう

社会福祉法人水戸市社会福祉協議会(平成 25 年 7 月 5 日制定)

令和 6 年度 内原支部事業から…

- 5 月：総 会
- 9 月：福寿のつどい
- 10 月：高齢者スポーツ大会
- 11 月：内原ふれあい祭り
- 11 月：クリスマス食事会
- 12 月/ R7.3 月：うちっこ広場
- R7.2 月：役員研修
- * 毎月第 2 火曜日：おしゃべりサロン
- * 毎月第 4 金曜日：スクエア・ステップ
- * 10 月～12 月：赤い羽根共同募金

【5 月 総 会】



【9 月 福寿のつどい】



【10 月 高齢者スポーツ大会】



【11 月 クリスマス食事会】



【11 月 内原ふれあいまつり】



【12 月/R7.3 月 うちっこ広場】



【R7.2 月 役員研修】



【おしゃべりサロン】



【スクエア・ステップ】



【赤い羽根共同募金】

たくさんのご協力に
感謝！



令和6年度の内原支部役員研修は、6年ぶりに市外での視察研修を実施しました。

令和7年2月21日(金)、水戸市社会福祉協議会の倉田さんにも同行していただき、まず、令和3年に隈研吾氏によって設計された「廣澤美術館」を見学。その後、「羽黒神社」、「板谷波山記念館」等を、参拝、見学しながら筑西市街を散策しました。

当日は天候にも恵まれ、紫峰筑波山を背景に新しいものと古いものとが融合している町並みに、県西地方の真の豊かさと気概が感じられました。



今回の研修は日ごろ『事業』に追われる中、日常とは違う景色の中で、役員相互の理解や親睦を図ることも大きな目的のひとつでした。他愛ないおしゃべりや「いちご狩り」という思いがけない「おまけ」も堪能。穏やかな日差しに、心身ともにリフレッシュした一日となりました。

広報部会 幸田泰子

内原ふれあい祭り

令和六年十一月三日、「内原ふれあい祭り」が開催され、内原地区社協では三支部合同で参加しました。

天候にも恵まれ、来場者も多く、支部で用意した飲み物や水戸市社協本部の就労支援施設からの縫製品やクッキーなども、早々に完売となりました。収益金は全て水戸市社協本部に寄付いたしました。

さらに募金活動といたしまして「赤い羽根共同募金箱」



ステージには地域団体の出し物し物が次々に登場

も設置し、ご協力いただきました。

ご来店くださった方々、そしてご協力いただきました皆さま、本当にありがとうございました。

歳末たすけあい募金事業

「赤い羽根共同募金」への協力、誠にありがとうございました。

令和六年度も、内原市民センターの窓口に募金箱を設置させていただきました。

募金箱の朝晩の出入れなども含め、市民センター職員の方たちのご協力のもと、十二月二十七日までお預かりいただきました。

心より感謝申し上げます。

また、イオンモール内原では、十月二十六日(土)に街頭募金活動を行いました。

地区の個別募金につきましては、各自治会長の皆さまに多大なるご協力をいただきましたこと、重ねてお礼申し上げます。

おかげさまで多くのご寄付をお寄せいただきました。

皆さまからの募金は、今後様々な地域福祉事業の推進に役立させてまいります。

内原支部長 坪井春江



【編集後記】

二ページの小林地区の『コミセン祭り』の記事は、地区から「ぜひ取り上げてください」というお声かけがあり、記事はもとより、資料等もお寄せいただきました。ただただうれしく、感激いたしました。本当にありがとうございました。

広報部会では「楽しく、読みやすく」をモットーに、今後は地域の活動などもお伝えできれば、と考えています。

皆さまからのご意見や記事の寄稿なども大歓迎です。

おかげさまで『福祉うちはら十九号』を皆さまのご支援のもと、無事発行できました。

深く感謝申し上げます。